

## 第4学年 外国語活動指導案

令和2年10月28日 5校時 4年教室

指導者 T1 福庭 礼子

T2 Nicholas John Degiovine

### 1 単元名 What do you want? ほしいものは何かな? (Let's Try! 2 Unit 7)

### 2 単元目標

友だちのためのオリジナルピザを作る参考にするために、相手に伝わるように工夫しながら、ピザにのせたい具材を尋ねたり答えたりして、お互いの考えや気持ちなどを伝え合う。

### 3 領域別目標

「話すこと[やりとり]」

ウ サポートを受けて、自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いて質問をしたり質問に答えたりするようにする。

### 4 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと 「やり取り」	食材の言い方や、欲しいものについて What do you want?や I want ~,please.などの表現を用いて欲しいものを尋ねたり答えたりしている。	オリジナルピザを作るために、相手に伝わるように工夫しながら、具材について欲しいものを尋ねたり答えたりして、お互いの考えや気持ちなどを伝え合っている。	オリジナルピザを作るために、相手に伝わるように工夫しながら、具材について欲しいものを尋ねたり答えたりして、お互いの考えや気持ちなどを伝え合おうとしている。

### 5 学習の基盤

#### ○児童観

<個人情報保護のため省略>

#### ○教材観

食材という児童にとって身近で、興味・関心の高いものを題材とした単元である。これまで慣れ親しんだ表現を使って、相手のことを配慮して伝え合うことがイメージしやすく、Unit3 I like Mondays.での自分の好きな曜日をどのように伝えるかを工夫した経験が生かしやすいと考える。また、国語の学習とつなげることで、児童がお互いにやり取りや発表をする上でのアドバイスがしやすい教材である。毎日の生活の中で触れる機会が多い食材について、普段から給食の食材を英語で言わせたり、英語のピクチャーカードを掲示したりすることで、より身近に感じ、親しみながら覚えられると考える。

○指導観

国語科の「もしも、どうしたい」では、お互いの考えに関心を持ち、共通点や相違点に着目しながらやり取りを続けることを目標に学習した。外国語活動でも、Unit3などで、その学習とつなげて自分の言いたいことを述べるだけでなく、やり取りとして成立させるために、伝え方に焦点をあてて学習してきた。本単元では、やり取りを高め、児童がこれまでに慣れ親しんできた語彙や表現を使って、児童同士で二往復以上のやり取りをする活動を設定する。フルーツパフェを作る際に見つけたやり取りを続けるためのコツを生かし、ピザ作りでのやり取りに生かしていく。学級活動において、運動会を終えた児童が学習発表会に向けて頑張るためのお楽しみ会を計画した。そのお楽しみ会で、友だちのためにピザを作ることを目標に、児童は好みのピザの具材について伝え合う。それによってやり取りの必要性が生まれるとともに、相手に自分の好みを伝えたいという意欲につながると考える。言葉を使ってコミュニケーションを取り、通じ合うことの楽しさを味わわせたい。

6 「話すこと [やり取り]」に焦点をおいた単元の指導と評価の計画（4 時間）

時	目標◆・活動○【】	評 価			
		知 技	思 判 表	態 度	評価規準〈評価方法〉
1	◆食材の言い方や、欲しいものを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。				
	○週末の話 ・教師の食べ物に関わる週末の出来事について話を聞く。 ○誌面を見てどのようなものがあるかを発表し、食べ物の言い方を知る。 <b>【Let's Watch and Think】 p.27</b> ・世界の市場の様子を見て、世界にはさまざまな食材があること、自分たちに身近な食べ物があることを知る。 <b>【Activity1】 p.28</b> ・T1 と T2 の、フルーツパフェをつくる際のやり取りを聞いて理解する。 ・指導者と代表児童、代表児童どうしのやり取りを見たり、一緒に尋ねたり答えたりする。 <b>【Let's Chant】 What do you want? p.27</b>				本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認する。
2	◆欲しいものを尋ねたり要求したりする表現に慣れ親しむ。				
	○週末の話 ・教師の食べ物に関わる週末の出来事について話を聞く。 <b>【Let's Chant】 What do you want? p.27</b> <b>【Let's Play】 おはじきゲーム p.26, p.27</b> <b>【Activity1】 p.28</b> ・ペアになり、やり取りしてパフェを作る。 <b>【Let's Listen1】 p.28</b> ・登場人物が自分のフルーツパフェの中身を紹介するの聞き、線で結ぶ。				本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認する。

3	<p>◆フルーツパフェについて紹介したり，欲しいものを尋ねたり答えたりして伝え合う。</p> <p>○週末の話 ・教師の食べ物に関わる週末の出来事について話を聞く。 【Let's Chant】 What do you want? p.27 ・前時に作ったパフェを紹介し合う。 ・やり取りして，欲しいパフェを伝える。 【Let's Listen2】 p.29 ・音声を聞いて缶詰のイラストと文字を線で結ぶ。 【Activity2】 p.29 ・次時への見通しをもつ。</p>	や			<p>「話すこと [やり取り]」の記録に残す評価 ◎食材の言い方や，欲しいものについて What do you want?や I want ~,please.などの表現を用いて欲しいものを尋ねたり答えたりしている。(行動観察・振り返りカード点検)</p>
4 (本時)	<p>◆オリジナルピザを作るために，相手に伝わるように工夫しながら，具材について欲しいものを尋ねたり答えたりして伝え合う。</p> <p>○週末の話 ・教師の食べ物に関わる週末の出来事について話を聞く。 【Let's Chant】 What do you want? p.27 【Activity2】 p.29 ・ペアでやり取りをして，相手の好きな具材を質問したり，自分の好みを伝えたりしてお互いのためのピザのレシピを作る。</p>	や	や		<p>「話すこと [やり取り]」の記録に残す評価 ◎オリジナルピザを作るために，相手に伝わるように工夫しながら，具材について欲しいものを尋ねたり答えたりして，お互いの考えや気持ちなどを伝え合っている。(行動観察・振り返りカード点検) ◎オリジナルピザを作るために，相手に伝わるように工夫しながら，具材について欲しいものを尋ねたり答えたりして，お互いの考えや気持ちなどを伝え合おうとしている。(行動観察・振り返りカード点検)</p>
学級活動	<p>◆ペアの相手が考えた食材を使い，ピザを作り，ピザの具材選びに込めた思いを紹介する。</p> <p>・相手の選んだ具材をのせて，ピザを作る。 ※新型コロナウイルス感染防止対策として，各自で自分のピザを作る。 ・ピザに込めた思いを伝え合う。</p>				

## 7 本時の学習

### (1) 本時の目標

友だちのためのオリジナルピザを作る参考にするために，相手に伝わるように工夫しながら，ピザにのせたい具材を尋ねたり答えたりして，お互いの考えや気持ちなどを伝え合う。

(2) 展開

学習活動	教師の支援（・）と評価場面（◎）
1 挨拶をする。 2 本時のめあてを確認する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習をつなげ、振り返りのイメージを持てるよう、前時のよい振り返りを紹介する。</li> </ul>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">このみを伝え合って、ペアの相手が喜ぶオリジナルピザを作ろう</div>	
3 週末の話聞く。  4 発音練習をする。【Let's Chant】 p.27 など  5 友だちとやり取りをして食材を集めてオリジナルピザを作る。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・既習の表現も使いながら、やり取りを繰り返し、自分の好みを伝えたり、相手の好みを尋ねたりしてお互いのオリジナルピザの具材を決める。</li> <li>・相手のよいと思ったところを伝える。</li> </ul> 6 よりよいやり取りにするためのアイデアや相手の伝え方のよいところを全体で紹介する。  7 振り返りをする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・トマトが好きだと言ったら、Me,too.と言われてうれしかった。それからベーコンが好きかとか質問をしあったら英語でも話がはずんだ。</li> <li>・初めは英語で会話できるかなと思ったけど、好きなものを聞いたり、答えたりできた。〇〇さんにぼくの好きなものを聞かれたときに、ぼくが何のことかわからないときに、〇〇さんが絵を指さして教えてくれたので優しいなと思った。</li> </ul> 8 挨拶する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話を聞くだけでなく、途中で、クイズや質問に答える時間を入れる。</li> <li>・写真を提示しながら話す。写真に英語を入れる。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでに出的やり取りのポイントを掲示しておく。</li> <li>・よかったところを見つけるように声がける。</li> <li>・伝え方を意識しながら取り組めるよう、児童のよいところを伝える。</li> <li>・中間評価の時間を取り、その後やり取りに生かせるようにする。</li> </ul> <p>◎オリジナルピザを作るために、相手に伝わるように工夫しながら、具材について欲しいものを尋ねたり答えたりして、お互いの考えや気持ちなどを伝え合っている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p> <p>◎オリジナルピザを作るために、相手に伝わるように工夫しながら、具材について欲しいものを尋ねたり答えたりして、お互いの考えや気持ちなどを伝え合おうとしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・次時につなげるため、やり取りのポイントの掲示に今後追加していく。</li> <li>・本時の振り返りに加え、ペアでの対話を通しての学びも書くように声かける。</li> <li>・本時の中で見られた児童のよい姿に触れる。</li> </ul>

3) 本時の評価

	十分満足できると判断される児童の具体例	おおむね満足と判断される児童の具体例	支援を必要とする児童への手立て
思考・判断・表現	うなずくなどの反応を返しながら聞いたり，相手に伝わるように工夫しながら，ピザにのせたい具材を尋ねたり答えたりして，お互いの考えや気持ちなどを伝え合っている。	聞き取りやすい声で言ったり，動作を交えたりするなど，相手に伝わるように工夫しながら，ピザにのせたい具材を尋ねたり答えたりして，お互いの考えや気持ちなどを伝え合っている。	・これまでに見つけてきたやり取りのポイントの掲示を見たり，友だちからのアドバイスを思い出したりするように声をかけ，頑張りたいところをはっきりさせる。
主体的に学習に取り組む態度	うなずくなどの反応を返しながら聞いたり，相手に伝わるように工夫しながら，ピザにのせたい具材を尋ねたり答えたりして，お互いの考えや気持ちなどを伝え合おうとしている。	聞き取りやすい声で言ったり，動作を交えたりするなど，相手に伝わるように工夫しながら，ピザにのせたい具材を尋ねたり答えたりして，お互いの考えや気持ちなどを伝え合おうとしている。	・個別に自分の言いたいことや伝えたいことを練習する。 ・言いたいことを忘れたときは，絵を指して伝えてもよいと伝え，安心してやり取りできるようにする。

8 研究の視点

- ・ 必然性のある対話的な活動を取り入れ，児童にやり取りのポイントに気付かせるような「中間評価」の場を適切にもったことで，相手に伝わるように工夫しながらやり取りを続ける姿につながっていったか。